

KIZUKU

女性が活躍できる建設業

活力ある経済社会を維持するには、女性の持つポテンシャルを引き出すことが欠かせません。これまで男性中心であった建設業界でも、女性が持てる力を存分に発揮できる環境整備が進められています。あなたが輝ける魅力ある舞台はここにあります。

もっと女性が活躍できる
建設業を目指して

けんせつ小町
KENSETSU-KOMACHI



「けんせつ小町」は建設業で働くすべての女性の愛称です。

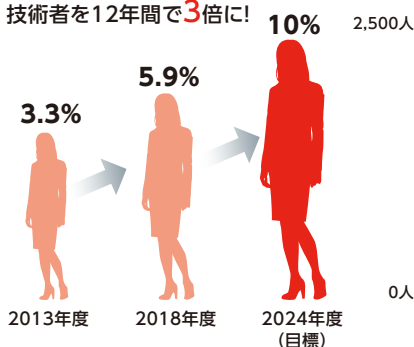
活躍するフィールドに男女差はありません。建設現場で働く技術者、建物の施工計画や見積、生産設計を担う技術者、研究所で新技術を開発する研究者など、活躍の舞台は多岐にわたります。

建設業で働く女性が増えています！

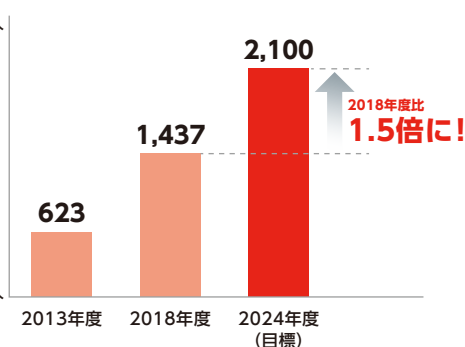
総合建設業で働く女性の比率は増加傾向にあります。女性就業者数が増えることは、建設業での働き方の多様化につながり、職場環境の改善、長時間労働の是正などが進むことが期待されます。日建連会員企業は、建築分野におけるあらゆる職種で、意欲ある女性の積極的な採用に取り組んでいます。

●女性技術者の比率

技術者を12年間で3倍に！



●女性管理職数



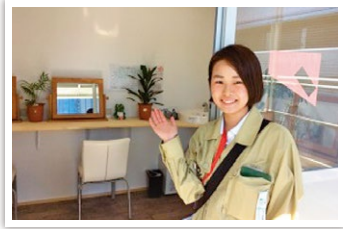
詳細は日建連HPから

建設現場を女性たちが働きやすい環境にするために 業界全体が取り組んでいます。

1

女性が働きやすい施設の整備

- 安心して使用できる休憩所や更衣室、トイレや洗面所の整備



2

女性が働きやすい現場環境づくり

- 女性が現場で働くことへの理解を広める
- セクシャルハラスメント防止を強化
- 女性技術者の技術向上、現場監督の育成を支援



3

出産と育児をサポートする施設の整備

- 妊産婦の体調に配慮した空気環境の整備（分煙など）
- 安心して子供を預けられるキッズルームなどの整備



4

出産と育児をサポートする仕組みづくり

- 産休・育休の取得や復職支援
- 時差出勤、帰宅制度などの制度を導入



輝け!

けんせつ小町

夢を追い求めて、育休後に現場に復帰
女性社員のひとつのモデルを目指して
働き方改革を進め、男女関係なく助け合える現場に



天笠 まやさん

戸田建設株式会社

昔からものづくりが好きだった私が施工管理職を目指したのは、大学時代に原寸大の建築模型を作り、「建物をつくる」ということに興味を抱いたのがきっかけでした。この道に入ったからには、施工管理職としてスペシャリストを目指したい。そんな志から、入社時から「結婚や出産をしても、現場の仕事を続けたい」と公言してきました。しかし当社には、現場復帰した女性の前例はありません。それでも、人との交流や培ってきた経験・スキルをより磨きたい。現場で建物が出来上がる喜びを感じたいという想いのもと、現場に復帰。当初は試行錯誤の連続でしたが、保育園のお迎えの

ために、打合せを早めに設定してもらったなどの現場の協力、そして夫の支えがあって、子育てと両立しながら続けられました。現在は自分のライフイベントに合わせて勤務形態を変えていく研修の一環として、内勤業務をしています。現場とはまた違った視点が生かせる、いい機会だと感じています。これからの働き方改革の時代、男性陣も子育てなどそれぞれの事情があるはず。男女関係なく、仕事とプライベートのバランスをとって、互いに助け合える現場が理想だと考えています。後に続く女性社員のひとつの選択肢となれるよう、頑張っていきます!